

製造請負関連事業

宇部興機株式会社

UBE KOHKI

新設の第二工場が稼働を開始し、人的資本と組織力の強化を図り、収益率の向上を伴う安定成長を目指します。

執行役員 管理本部 財務統括部財務部長
宇部興機株式会社 代表取締役社長

小川 晴弘



株式会社松田機工

株式会社 松田機工

新規顧客の開拓や人材採用・育成、生産能力の強化を図りつつ、高収益率を維持した事業拡大を推進します。

取締役 製造本部長 兼 本社工場長
株式会社松田機工 代表取締役社長

山田 和寛



ありたい姿

次なる成長ステージに向けて、ボトルネックの解消を図るとともに、社員一丸でチャレンジする組織体制を構築することで、収益性の改善を図りつつ2030年の売上規模を従来の20億円～25億円から30億円水準へ引き上げます。

実現に向けた戦略

新第二工場の稼働に伴い、検査や組立工程の改善が図られ、1～2割程度の生産能力の増強を実現します。設計部隊を持つ独自の技術力が評価され、新規顧客の開拓も着実に進んでいます。営業を中心とした人材育成を強化することで事業規模の拡大を目指します。

マテリアリティの解決に向けた貢献

水素やメタンなど向けガスホルダー（タンク）も手掛けており、「カーボンニュートラルの実現」に加えて、製造請負企業としてお客様の多様化するニーズにお応えすることで「新たな顧客価値の創造」に貢献します。

事業機会

- 競合企業の縮小に伴う事業機会の増加
- 日エグループ内での製品及び開発シナジーによる新規案件の獲得
- 水素やメタンを利用した各種プラントの建設や関連設備投資の需要拡大

新中計期間中の想定と施策

- 後継者不足で廃業する競合企業の増加が見込まれる。
- 新規顧客の開拓に加え、人員増強、設備能力の増強を通じた収益性の維持・向上を図る。

製造請負関連事業の中計目標数値

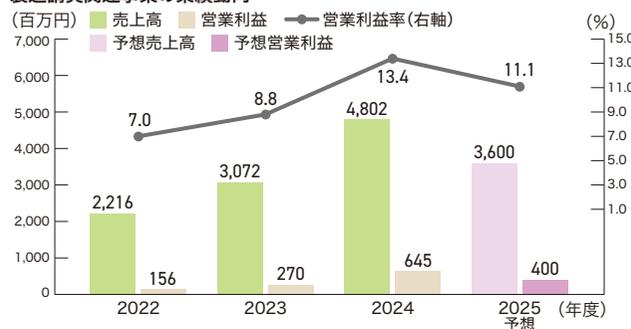
	2024年度 実績	2025年度 予想	2026年度 計画	2027年度 計画
売上高	4,802	3,600	3,800	4,200
営業利益	645	400	450	500
営業利益率	13.4%	11.1%	11.8%	11.9%

注：営業利益は全社費用前営業利益

強み

- 各社ともに品質・コスト・納期の高い総合力を有する
- 宇部興機は、全国規模で事業展開を行い、製造請負にとどまらず、ガスホルダーやソーラー照明などの自社製品を有し、中国大連には提携工場を持つ
- 松田機工は高い製缶・溶接技術を有し、短納期対応能力を有する

製造請負関連事業の業績動向



ありたい姿

自社一貫体制（設計、組立、検査、据付）の強みと豊富な実績を有する「高収益体質のものづくり集団」として、2030年の売上規模を現状の7億円水準から10億円規模へ引き上げ、高い収益率を維持しつつ事業拡大を目指します。

実現に向けた戦略

2024年度の売上高は、大口案件が重なり、過去最高を更新しました。すでに第二工場の建設に着手しており、生産能力は10億円規模に拡張されます。人材採用と幹部育成を進め、新規顧客開拓を図りつつ、宇部興機や日工(株)製造外販と連携し、日エグループでのシナジーの最大化を図ります。

マテリアリティの解決に向けた貢献

製鉄会社の高炉から電炉への設備切り替えに伴う案件などを通じた「カーボンニュートラルの実現」に加えて、当社独自の強みを活かしたお客様ニーズに柔軟に対応することで「新たな顧客価値の創造」に貢献します。

事業戦略

- | | |
|----------|------------------|
| 1 宇部興機 | ● 人員強化と工場設備投資 |
| 2 松田機工 | ● 設備投資とシステムDX化 |
| 3 シナジー効果 | ● 日工外販部門を中心に連携強化 |

売上高構成比



セグメント利益構成比

